



日建設計コンストラクション・マネジメント



写真:高田 浩行

小暮 恒介 氏

日建設計コンストラクション・マネジメント
執行役員
Sustainability & ESG Domain 統括

小暮 恒介(こぐれ こうすけ)氏:大手建設会社、大手信託銀行を経て、2015年日建設計コンストラクション・マネジメント入社。オフィス、データセンターなどのCM業務の実績多数。22年4月より現職

建設プロジェクトにESGを組み込む

建築を発注する事業者の代理人として技術面やプロジェクト管理を支援する。建築分野のESG戦略コンサルティングを提供し、企業の価値向上に貢献する。

—事業の概要を教えてください。

小暮 日建グループは建築の設計監理、都市デザイン、関連する調査・企画など総合コンサルティングを提供しています。「社会環境デザイン」の先端を拓く専門家集団を標榜し、建築・都市と環境に関わる様々な要望にお応えします。

グループの1企業として2005年に日建設計から独立した日建設計コ

ンストラクション・マネジメント(NCM)は、建設プロジェクトを発注者側に立って管理するコンストラクション・マネジメント(CM)や、建物のライフサイクル管理(LCM)などの事業を展開しています。

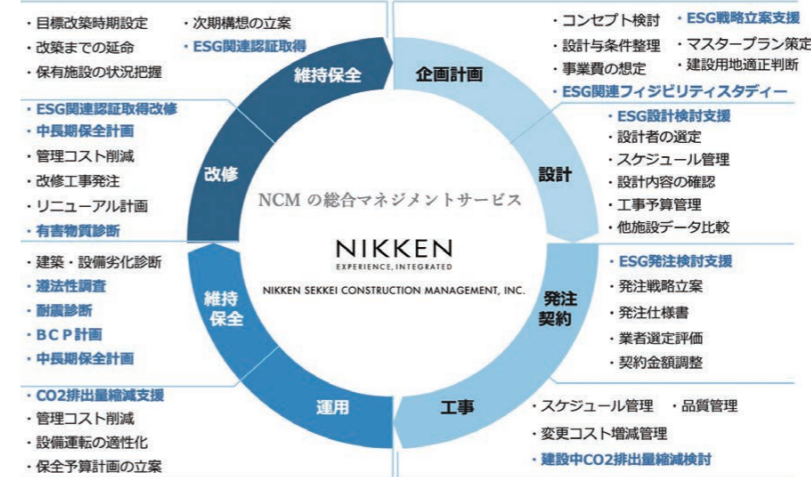
ゼネコンなどに建物や工場などの建築を発注する事業者の代理人として、技術面のコンサルティングを提供し、プロジェクト管理の人的支援

をします。NCMの取り扱い工事費は年間1兆6000億円に達し、建築分野のプロジェクト管理ではトップシェアを獲得しています。

—多くの顧客から建築のプロジェクト管理を受注できている要因は何でしょうか。

小暮 NCMには4つの特徴があります。1900年に創業した日建設計は120年以上の歴史と、積み重ねた

日建設計コンストラクション・マネジメントの事業領域



ESG戦略に関するサービスを展開

「一つなぐ ESG」サービスメニュー

0. フィジビリティスタディーによる仮説検討(E/S/G)
~保有不動産や建設プロジェクトで対応可能なESG取組方針検討~
1. カーボンニュートラル・コンサルティング(E)
~保有不動産に関わる温室効果ガス排出量の把握と削減方針検討~
2. 各種認証取得コンサルティング(E/S/G)
~保有不動産に対する環境認証やウェルネス認証の取得支援~
3. ワークスタイル・コンサルティング(S)
~企業のダイバーシティ化、働き方改革に対応した働き方改革・オフィス変革支援~
4. 建設プロジェクト ESG 対応コンサルティング(E/S/G)
~ESG 思想に基づく建設プロジェクトの最適化支援~
5. CRE × ESG コンサルティング(E/S/G)
~ESG 戦略を踏まえた「CRE ポートフォリオ最適化」支援~

出所:日建設計コンストラクション・マネジメント

多くの実績があります。日建グループならではの高い品質のサービスを提供できることが、顧客の安心感につながっています。

2点目は資本の中立性です。株式保有を社内のみ限定して外部資本を入れない社内株主制度や無借金経営により、独立性と社会的中立性を堅持する経営方針を守っています。

3点目は設計から施工、不動産、金融など様々な分野の専門家が多角的なコンサルティングを提供できる技術者集団であることです。全ての業務を包括的な視点でソリューション提供できる組織力と技術力があります。事業戦略分野を17のドメインに分割し、組織的にプロジェクトを支援する体制を築いています。

4点目は、豊富な実績を集積した膨大なデータベースに基づいて、企画・計画の立案から設計・施工までを実現できることです。実際の事例に基づいたソリューション提案や、建築プロジェクトにおけるESG投資のコンサルティングができることは強みです。

—サステナビリティについての考え方を教えてください。

小暮 「公正かつ透明性の高い企業活動を通じて持続的な企業価値向上を図り、提供するソリューションとマネジメントの力で、サステナブルな社会の実現に貢献します」という方針を掲げています。2021年4月に体制を一新してSustainability & ESG Domainを設置しました。顧客からの問い合わせなどの窓口となり、環境問題にとどまらないESGに関する幅広い悩みに対応します。どのドメインと連携するかを検討し、ESGマネジメントの司令塔の役割を果たします。

企画段階からESG思想

—設計から維持管理まで、建築全般でESG対応を進めています。

小暮 オフィスビルの寿命を60年とした場合、建物のライフサイクルコスト(LCC)は新築コストが20~25%、ランニングコストが80~75%です。企画段階でESG戦略を立案して、設計や発注の際に省エネ機

能を取り入れた設計でどれくらいコスト削減効果があるかを見える化した提案ができます。

竣工後は既存建物の環境性能向上を軸に、運用や解体時までを見据えた計画を立案します。昨今は再生可能エネルギーの導入によるCO2排出量削減支援などの相談を多く受けています。

こうした要望を受けて、ESG戦略コンサルティングを「一つなぐ ESG」というサービス・パッケージとして提供することにしました。建築・都市に関わるESGの取り組みを経営者の目線でサポートし、建設関連プロジェクトの全てのアクションにESGの思想を取り入れます。

初期段階のフィジビリティスタディーで保有不動産や建設プロジェクトの仮説を検証し、カーボンニュートラルに向けた排出量の把握や削減方針の検討、各種の認証取得などのコンサルティングをします。建築プロジェクトを通じて、財務指標と非財務指標を両立して、企業の総合的な価値向上に貢献していきます。

聞き手:安達 功(日経BP 総合研究所フェロー) **E**